2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月12日

上場会社名　　株式会社ファインデックス　　上場取引所　東
コード番号　　3649　　URL　https://findex.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）相原 輝夫
問合せ先責任者　（役職名）取締役 CFO　　（氏名）矢澤 隆弘　　ＴＥＬ　03（6271）8958

配当支払開始予定日　　ー
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	4,297	△1.7	985	△17.5	1,034	△16.6	639	△25.1
2025年12月期第３四半期	4,372	1.5	1,195	6.2	1,240	9.5	853	2.6

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　602百万円（△28.9%）　2025年12月期第３四半期　848百万円（2.1%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	26.19	ー
2025年12月期第３四半期	33.72	ー

（注）潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	6,343	5,423	85.0
2025年12月期	6,807	5,467	79.9

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　5,394百万円　2025年12月期　5,440百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	ー	8.00	ー	14.00	22.00
2026年12月期	ー	13.00	ー		
2026年12月期（予想）				14.00	27.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,209	1.6	1,829	2.2	1,889	2.6	1,302	3.6	53.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	：無
②　①以外の会計方針の変更	：無
③　会計上の見積りの変更	：無
④　修正再表示	：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	26,608,800株	2025年12月期	26,608,800株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	2,180,979株	2025年12月期	2,200,265株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	24,418,622株	2025年12月期３Ｑ	25,309,048株

（注）期末自己株式数には、日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する当社株式（2026年12月期３Ｑ　126,700株、2025年12月期　132,200株）が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行（信託口）が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2026年12月期３Ｑ　130,749株、2025年12月期３Ｑ　135,998株）。

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（追加情報） …… 9
３．補足情報 …… 10

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間の売上高は、通期業績予想に対して69.2%の進捗となり、例年並み（過去５年実績平均69.8%）に推移しております。当社グループは、売上・利益が第１四半期及び第４四半期に集中する季節性があることから、通期業績予想及び配当予想は据え置いております。

医療機関では、人件費の上昇に対し診療報酬の改定が追いつかず、厳しい経営環境が続いております。一方で、厚生労働省の「医療情報化推進方針」（2026年10月適用）では、2030年末までに医療情報の共有が可能な電子カルテの普及率約100%を目指すとされるなど、医療DXの推進は引き続き国の重点施策となっております。こうした中、当社グループのシステム・サービスは日々の診療を支える基盤として継続的にご利用いただいております。

主力の医療ビジネスは、大学病院等のシステム更新周期の谷にあたる年であることから、同セグメントの通期業績予想は前年比4.2%の減収を計画しておりました。しかし、電子処方箋関連を含むクラウドサービスの伸長により、減収率は1.2%にとどまっております。これにより、公共ビジネス及びヘルステックビジネスの計画との差を補っております。

当社グループの費用は人件費を中心に期を通じて一定に発生するため、第３四半期時点の利益の進捗率は、売上高の進捗率を下回る傾向にあります。また、計画に織り込んだ給与の増加に加え、業務効率化・生産性向上を目的としたAIサービス等の全社共通システムへの投資が増加し、営業利益の進捗率は53.9%となりました。専門人材の増強や研究開発などの成長投資は、計画どおり進捗しております。

親会社株主に帰属する四半期純利益には、保有する非上場株式について、投資先の評価額の見直しに伴い計上した投資有価証券評価損106,964千円（特別損失）が含まれております。これは資金流出を伴わない一過性の損失であり、本業の営業活動への影響はありません。当期末までに投資先の評価額が回復した場合には戻し入れられる可能性があります。

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）の経営成績は、以下のとおりです。

（単位：千円）

	2025年12月期 第３四半期	2026年12月期 第３四半期	増減額	増減率	通期業績予想 達成率
売上高	4,372,934	4,297,983	△74,951	△1.7%	69.2%
営業利益	1,195,164	985,895	△209,268	△17.5%	53.9%
経常利益	1,240,391	1,034,631	△205,759	△16.6%	54.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	853,470	639,507	△213,963	△25.1%	49.1%

当第３四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,297,983千円（前年同期比1.7%減）、営業利益985,895千円（同17.5%減）、経常利益1,034,631千円（同16.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益639,507千円（同25.1%減）となりました。

当第３四半期連結累計期間のセグメント別（連結）の経営成績は、以下のとおりです。

≪医療ビジネス≫

（単位：千円）

	2025年12月期 第３四半期	2026年12月期 第３四半期	増減額	増減率
売上高	4,015,682	3,967,442	△48,240	△1.2%
営業利益	1,217,591	1,106,073	△111,518	△9.2%

当セグメントの経営成績は、売上高3,967,442千円（前年同期比1.2%減）、営業利益1,106,073千円（同9.2%減）となりました。当年度は、主要顧客である大学病院・大規模病院のシステム更新周期の谷にあたるため、通期で前年比4.2%の減収を計画しておりました。しかし、電子処方箋に係るHPKIセカンド電子証明書を含むクラウドサービスが好調に推移し、減収率は1.2%にとどまっております。営業利益の減少は、主に給与の増加と、業務効率化を目的としたAIサービス等の全社共通システムへの投資によるものです。

当第３四半期連結累計期間は病院案件41件、診療所案件94件の新規導入・追加導入及びシステム更新を実施いたしました。クラウドサービスの拡販と保守サービスの増加により、当セグメントのストック型収益の比率は売上高の36%(前年同期33%)に上昇しております。

今後に向けては、クリニック向けで眼科を中心に電子カルテ等のリプレイス需要が増加しており、次年度以降の業績に寄与する見込みです。また、国が推進する電子カルテ情報共有サービスに対応した製品・サービスにより、地域医療連携への貢献を通じた事業拡大を進めております。子会社のフィッティングクラウド株式会社が提供する生成AIソリューション「CocktailAI」は、病院業務の省力化ニーズを背景に導入施設数が順調に増加しております。

≪公共ビジネス≫

（単位：千円）

	2025年12月期 第３四半期	2026年12月期 第３四半期	増減額	増減率
売上高	295,358	265,835	△29,523	△10.0%
営業利益	113,556	42,082	△71,474	△62.9%

当セグメントは、自治体及び医療機関向けにSaaS型文書管理ソリューション「DocuMaker Office」を提供するストック型ビジネスです。サービス開始以来の稼働数は自治体67件、医療機関15件、総利用者数は約49,900人に達し、解約数は０件を維持しております。

当第３四半期連結累計期間では、自治体向け12件、医療機関向け２件が新たに稼働し、売上高265,835千円（前年同期比10.0%減）、営業利益42,082千円（同62.9%減）となりました。減収は前期第１四半期に計上した大型案件の反動によるもので、累計の減収率は第２四半期時点の29.1%から10.0%に縮小しております。営業利益の減少は、受注拡大に向けた自治体向けSE等の人員増強とシステム開発の推進、及び業務効率化を目的とした全社共通システムへの投資によるものです。

自治体向けでは、当第３四半期に新規代理店案件６件を受注し、次年度に向けた受注残高が積み上がっております。次年度以降の大型案件の商談も複数進行しております。医療機関向けでは、年内稼働に向けた導入作業に加え、来期稼働予定の案件や新規の引き合いも進展しております。

≪ヘルステックビジネス≫

（単位：千円）

	2025年12月期 第３四半期	2026年12月期 第３四半期	増減額	増減率
売上高	61,892	64,705	2,813	4.5%
営業損失（△）	△135,984	△162,260	△26,276	－

当セグメントは、医療データプラットフォーム事業と医療機器事業で構成されております。

このうち、医療データプラットフォーム事業は、①アカデミアの研究者から個別に依頼を受けてカルテデータの加工・分析を行う認定外委託業務と、②次世代医療基盤法(注１)の下で、「認定医療情報等取扱受託事業者」として大量の電子カルテデータ加工を行う新規業務の２種類が含まれます。

当セグメントの経営成績は、売上高64,705千円（前年同期比4.5%増）、営業損失162,260千円（前年同期は135,984千円の営業損失）となりました。

【医療データプラットフォーム事業】

新規業務について、当社は次世代医療基盤法に基づく「認定作成事業者」として国の認定を受けた４社のうちの１社であるFAST-HDJの「認定医療情報等取扱受託事業者」として活動をしております。現在は運用開始前の準備段階にあり、５月に賃貸借契約を締結したオペレーションセンター（医療データの利活用施設）の整備と、データ分析を担う専門人材の確保を進めております。施設の利用開始に必要な審査手続きを進めており、運用開始は来期初めとなる見込みです。本格的な収益貢献はそれ以降となります。

【医療機器事業】

視線分析型視野計「GAP」（注２）（眼科向け医療機器）及び「GAP-screener」（注３）（健診施設向け医療機器）は、暗所を必要とせず、短時間で患者負担の少ない視野検査を可能にするウェアラブル型の医療機器です。当第３四半期連結累計期間の国内販売台数は１台となりました。海外では、販売代理店がアジアや南米地域を含む72社まで拡大しております。欧州・南米等向けに海外販売代理店から50台を一括受注し、９月より順次出荷、10月に検収を完了しており、売上は第４四半期に計上いたします。また、タイ向けの出荷を開始し、ASEAN地域への展開にも着手いたしました。国内では、保守プランの提供と販売代理店へのインセンティブプランの導入により、販売体制の強化を図っております。

(注１)次世代医療基盤法：正式名称「医療分野の研究開発に資するための匿名加工医療情報及び仮名加工医療情報に関する法律」。診療・身体情報を含む患者の個人情報を、個人が特定できないまで加工したうえで新薬開発や研究・治験等への二次利用を可能とする、医療データの利活用を推進するための法律
(注２)GAP：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000002
(注３)GAP-screener：ゲイズ・アナライジング・ペリメーター、医療機器製造販売届出番号 38B2X10003000003

（２）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

（単位：千円）

	2025年12月期	2026年12月期 第３四半期	増減額
資産合計	6,807,858	6,343,698	△464,159
負債合計	1,340,763	920,343	△420,420
純資産合計	5,467,095	5,423,355	△43,739

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、6,343,698千円となり、前連結会計年度末と比較して464,159千円減少しました。これは主に、現金及び預金の減少62,755千円、売掛金及び契約資産の減少382,072千円を主な要因とする流動資産の減少417,767千円によるものであります。

負債は、920,343千円となり、前連結会計年度末と比較して420,420千円減少しました。これは主に、未払法人税等の減少312,960千円を主な要因とする流動負債の減少418,126千円によるものであります。

純資産は、5,423,355千円となり、前連結会計年度末と比較して43,739千円減少しました。これは主に、その他有価証券評価差額金の減少39,444千円を主な要因とするその他の包括利益累計額の減少によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の連結業績予想につきましては、2026年２月12日の通期決算短信で公表した内容から、現段階で変更はありません。今後、業績予想の修正が必要になった場合には、速やかに開示いたします。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,678,886	1,616,130
売掛金及び契約資産	1,787,025	1,404,952
商品及び製品	164,166	170,715
仕掛品	7,232	4,414
原材料及び貯蔵品	19,964	17,809
その他	86,397	111,882
流動資産合計	3,743,671	3,325,903
固定資産		
有形固定資産	85,981	95,807
無形固定資産		
ソフトウエア	299,227	287,825
その他	344	344
無形固定資産合計	299,571	288,169
投資その他の資産	2,678,633	2,633,818
固定資産合計	3,064,186	3,017,795
資産合計	6,807,858	6,343,698
負債の部		
流動負債		
買掛金	36,090	28,945
未払金	127,991	101,437
未払法人税等	345,067	32,106
その他	517,400	445,934
流動負債合計	1,026,550	608,424
固定負債		
株式給付引当金	314,130	311,679
その他	83	239
固定負債合計	314,213	311,918
負債合計	1,340,763	920,343
純資産の部		
株主資本		
資本金	254,259	254,259
資本剰余金	225,785	226,792
利益剰余金	6,755,228	6,731,957
自己株式	△1,752,311	△1,737,081
株主資本合計	5,482,962	5,475,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△42,005	△81,450
その他の包括利益累計額合計	△42,005	△81,450
非支配株主持分	26,138	28,878
純資産合計	5,467,095	5,423,355
負債純資産合計	6,807,858	6,343,698

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	4,372,934	4,297,983
売上原価	1,559,761	1,542,099
売上総利益	2,813,172	2,755,883
販売費及び一般管理費	1,618,008	1,769,988
営業利益	1,195,164	985,895
営業外収益		
受取利息	36,936	38,143
為替差益	－	8,530
補助金収入	5,509	894
受取ロイヤリティー	1,660	－
その他	2,645	1,168
営業外収益合計	46,752	48,736
営業外費用		
自己株式取得費用	1,524	－
その他	1	－
営業外費用合計	1,525	－
経常利益	1,240,391	1,034,631
特別損失		
投資有価証券評価損	－	106,964
特別損失合計	－	106,964
税金等調整前四半期純利益	1,240,391	927,666
法人税、住民税及び事業税	371,526	303,048
法人税等調整額	1,361	△17,628
法人税等合計	372,887	285,419
四半期純利益	867,503	642,247
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,032	2,740
親会社株主に帰属する四半期純利益	853,470	639,507

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益	867,503	642,247
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,190	△39,444
その他の包括利益合計	△19,190	△39,444
四半期包括利益	848,313	602,803
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	834,280	600,062
非支配株主に係る四半期包括利益	14,032	2,740

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				四半期連結損益計算書計上額（注）
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステックビジネス	合計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,015,682	295,358	61,892	4,372,934	4,372,934
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	4,015,682	295,358	61,892	4,372,934	4,372,934
セグメント利益又は損失（△）	1,217,591	113,556	△135,984	1,195,164	1,195,164

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）

（単位：千円）

	報告セグメント				四半期連結損益計算書計上額（注）
	医療ビジネス	公共ビジネス	ヘルステックビジネス	合計	
売上高					
外部顧客への売上高	3,967,442	265,835	64,705	4,297,983	4,297,983
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	3,967,442	265,835	64,705	4,297,983	4,297,983
セグメント利益又は損失（△）	1,106,073	42,082	△162,260	985,895	985,895

（注）セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費及びソフトウエア償却費（市場販売目的のソフトウエア）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間（自　2026年１月１日　至　2026年９月30日）
減価償却費	26,200千円	30,738千円
ソフトウエア償却費	201,871	198,914

（追加情報）

（株式給付信託（J-ESOP）における会計処理方法）

当社は、2015年10月29日開催の取締役会において、当社の株価や業績と従業員の処遇の連動性をより高め、経済的な効果を株主の皆様と共有することにより、株価及び業績向上への従業員の意欲や士気を高めるため、従業員に対して市場から購入した自社の株式を給付するインセンティブプラン「株式給付信託（J-ESOP）」を導入することを決議しております。

この導入に伴い、2015年11月13日から2015年11月26日の間に資産管理サービス信託銀行株式会社（信託Ｅ口）（現：株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口））が当社株式194,200株を取得しております。

当該株式給付信託に関する会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第30号　平成27年３月26日）に準じて、信託の資産及び負債を企業の資産及び負債として連結貸借対照表上に計上する総額法を適用しております。

なお、株式会社日本カストディ銀行（信託Ｅ口）が保有する自己株式は、四半期連結貸借対照表の純資産の部に自己株式として表示しております。前連結会計年度末における計上額は101,983千円、株式数は132,200株、当第３四半期連結会計期間末における計上額は97,740千円、株式数は126,700株であります。

３．補足情報

（１）経営管理上重要な指標の推移

		2025年12月期 第３四半期 連結累計期間	2026年12月期 第３四半期 連結累計期間	2025年12月期
売上高	（千円）	4,372,934	4,297,983	6,109,941
営業利益	（千円）	1,195,164	985,895	1,790,029
経常利益	（千円）	1,240,391	1,034,631	1,840,735
四半期（当期）純利益	（千円）	867,503	642,247	1,278,403
非支配株主に帰属する四半期（当期）純利益	（千円）	14,032	2,740	21,432
親会社株主に帰属する四半期（当期）純利益	（千円）	853,470	639,507	1,256,970
四半期包括利益又は包括利益	（千円）	848,313	602,803	1,250,714
純資産	（千円）	5,302,266	5,423,355	5,467,095
総資産	（千円）	6,328,172	6,343,698	6,807,858
１株当たり純資産	（円）	214.02	220.83	222.91
１株当たり四半期（当期）純利益	（円）	33.72	26.19	50.07

（２）生産、受注及び販売の状況

①　生産実績

当第３四半期連結累計期間の生産実績は、次のとおりであります。

事業部門	生産高（千円）	前年同期比（%）
医療ビジネス	1,134,922	102.3
公共ビジネス	104,071	112.3
ヘルステックビジネス	106,668	105.6
合計	1,345,662	103.3

（注）金額は当期総製造費用によるものであります。

②　受注状況

当第３四半期連結累計期間の受注状況は、次のとおりであります。

事業部門	受注高（千円）	前年同期比（%）	受注残高（千円）	前年同期比（%）
医療ビジネス	2,753,874	85.1	1,986,196	112.9
公共ビジネス	140,079	95.8	108,286	96.1
ヘルステックビジネス	60,805	98.3	30,000	253.8
合計	2,954,759	85.8	2,124,483	112.8

③ 販売実績

当第３四半期連結累計期間の販売実績を販売・サービス種類別に示すと、次のとおりであります。

販売・サービス種類別	販売高（千円）	構成比（%）	前年同期比（%）
医療ビジネス			
オンプレソフトウエア	2,096,356	48.8	96.9
（うち代理店販売額）	(465,546)		
サポート	1,297,764	30.2	101.9
（うち代理店販売額）	(415,234)		
クラウドサービス	127,673	3.0	218.8
コンサルティング	19,650	0.4	26.7
ハードウエア	243,145	5.7	79.4
その他	182,851	4.2	129.9
公共ビジネス			
クラウドサービス	265,330	6.2	90.0
（うち代理店販売額）	(51,722)		
その他	505	0.0	72.9
ヘルステックビジネス			
医療機器	15,455	0.4	25.0
医療データ	49,250	1.1	―
合計	4,297,983	100.0	98.3

（注）当社グループの事業形態の変化をより適切に反映させるため、第１四半期連結会計期間の期首より販売・サービス種類別を再編いたしました。なお、前年同四半期比については、変更後の区分に基づき再集計した数値を記載しております。